

第103期 中間株主通信

平成27年1月1日から平成27年6月30日まで



東亜合成株式会社

- 01 株主の皆様へ
- 03 セグメント別概況
- 05 特集：ここにもそこにも東亜合成グループ
- 09 トピックス



代表取締役社長
中川 和明

.....
**高機能・高付加価値製品の
 市場開拓を推進し、
 収益基盤の拡大を図って
 まいります。**

Q 当第2四半期連結累計期間の概況についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年6月30日まで)におけるわが国経済は、円安基調の定着や日本銀行による金融緩和策の効果などから企業収益が改善し、また雇用環境や個人所得も上向くなど、景気は緩やかに回復してまいりました。一方、世界経済は、米国経済は堅調に推移しましたが、アジアにおいては中国経済の減速が鮮明となるなど先行きに対する不透明感が強まり、全般的にまだら模様の状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、半導体や電子材料、自動車部品向けなどに使用される高機能、高付加価値製品の需要は堅調に推移しましたが、アジア市場においてアクリル酸エステル製品の価格下落の影響を大きく受け、全体として、収益が圧迫されました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は702億7千万円(前年同期比6.2%減収)、営業利益は58億8千7百万円(前年同期比3.3%減益)、経常利益は64億2千9百万円(前年同期比0.3%増益)、四半期純利益は38億4千7百万円(前年同期比9.6%減益)となりました。

ポ
イ
ン
ト

- 高機能・高付加価値製品の販売は堅調
- アジア市場のアクリル酸エステルの採算悪化により、減収減益に
- 中間配当金は1株当たり6円を実施、期末配当金は12円※を計画

※株式併合考慮前で換算すると、前期と同額の6円となります

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

A 今後の見通しにつきましては、国内経済は個人消費や設備投資が堅調に推移し、米国経済も好調を維持すると期待されますが、中国をはじめとしたアジアや欧州経済の先行きに対する警戒感は強く、また原油やナフサなどの原燃料価格の動向も予断を許しません。このような中、当社グループは、既存事業においては市場の動きに適時、適切に対応するとともに、無機高純度品、水溶性ポリマーなどのアクリル系川下製品、機能性

接着剤など競争力のある製品に経営資源を重点的に投入し、収益の確保に努めてまいります。

平成27年12月期通期の業績につきましては、売上高は1,400億円(前期比6.0%減収)、営業利益は130億円(前期比8.2%増益)、経常利益は138億円(前期比7.0%増益)、当期純利益は85億円(前期比1.0%増益)を予想しています。

Q 利益配分についてお聞かせください。

A 利益配分につきましては、当期の業績や今後の事業展開等を総合的に勘案し、株主の皆様への安定的な利益還元を努めることを基本方針としています。前年同期(平成26年12月期第2四半期)の中間配当は、1株当たり5円の普通配当に創立70周年の記念配当1円を加え1株当たり6円の配当といたしました。当第2四半期は前年同期比減益となりましたが、中間配当は内部留保資金や今後の事業展開等を総合的に勘案し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、普通配

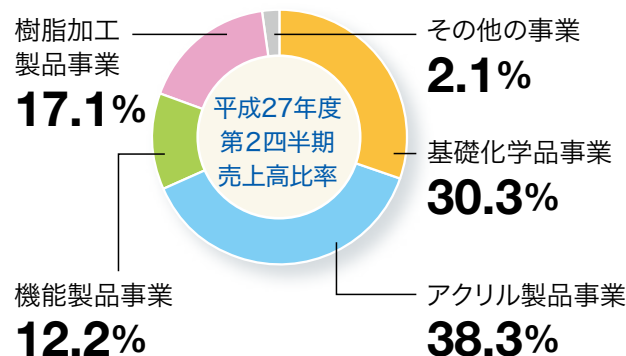
当を1株当たり6円といたしました。

また期末配当につきましては、平成27年7月1日を効力発生日とする株式会社(普通株式2株を1株に併合)後の株式数に対し、1株当たり12円(株式会社併合を考慮しない場合の平成27年12月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円)とすることを計画しています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

● 予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。
 ● 株式併合の詳細についてはP10の株主の皆様へのお知らせをご覧ください。

セグメント別売上高比率



セグメント別売上高・営業利益

(平成27年度第2四半期) (百万円)

	売上高	営業利益
基礎化学品事業	21,275	1,561
アクリル製品事業	26,903	1,542
機能製品事業	8,566	2,178
樹脂加工製品事業	12,047	562
その他の事業	1,477	△1

セグメント別主要製品

● 基礎化学品事業

苛性ソーダ、苛性カリ、液体塩素・塩酸などの無機塩化物、無機高純度品、硫酸、工業用ガス等

● アクリル製品事業

アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー、高分子凝集剤、光硬化型樹脂等

● 機能製品事業

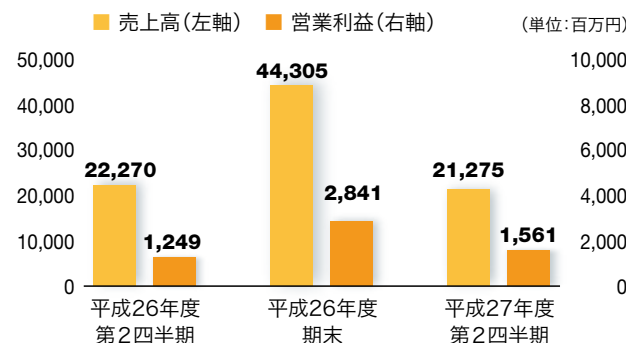
接着剤、建築・土木製品、無機機能材料、エレクトロニクス材料等

● 樹脂加工製品事業

管工機材製品、ライフサポート製品、エラストマーコンパウンド

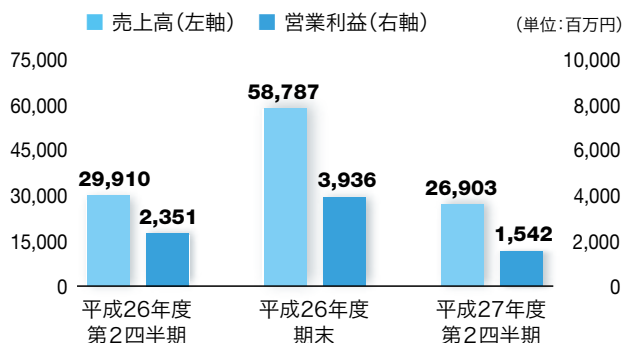
基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、需給アンバランスが拡大し販売価格が弱含みで推移したことから減収となりました。無機高純度品は、主力の半導体向けの販売が引き続き好調に推移し増収となりました。硫酸は、繊維用途向けの販売が低調で減収となりました。工業用ガスは、ほぼ前年同期並みに推移しました。



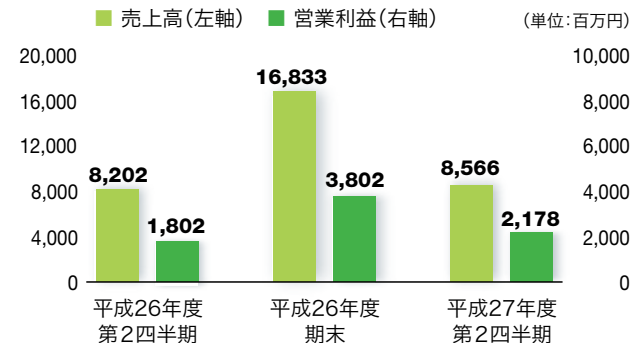
アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、需要は底堅く推移しましたが、原料価格低下に伴う製品価格の値下がりや販売競争の激化などから大幅な減収となりました。アクリル系ポリマーは、高付加価値製品の販売が好調に推移し増収となりました。高分子凝集剤ならびに光硬化型樹脂は、ほぼ前年同期並みで推移しました。



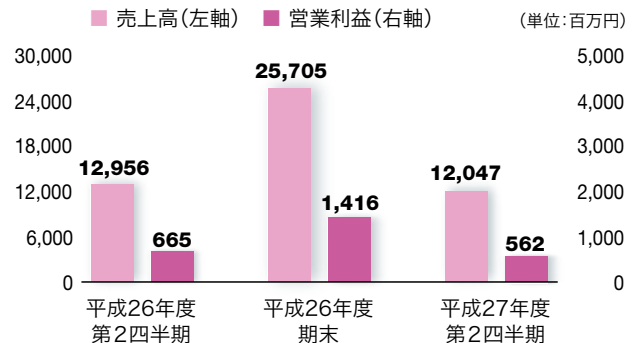
機能製品事業

接着剤は、瞬間接着剤の販売はほぼ前年同期並みでしたが、機能性接着剤が携帯端末向けなどに好調を維持し、全体で増収となりました。建築・土木製品は、地盤改良剤の販売が低調でした。無機機能材料は、海外での販売が好調に推移しました。エレクトロニクス材料は、半導体向けのシリコン系高純度ガスの好調により増収となりました。



樹脂加工製品事業

管工機材製品は、新設住宅着工戸数の回復遅れや販売競争の激化などから販売数量が減少し低調に推移しました。ライフサポート製品は、一部介護用品の販売不振により減収となりました。エラストマーコンパウンドは、一般的に需要は底堅く前年同期並みで推移しました。

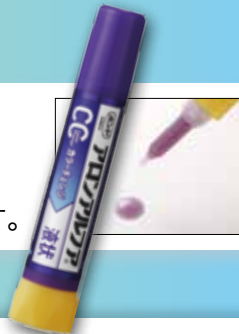


特集：ここにもそこにも 東亜合成グループ

アロンアルファ® だけじゃない!

豊かで快適な暮らしのために。
皆様の身の回りのあんなところ、こんなところで
役立つ東亜合成グループの製品をご紹介します。

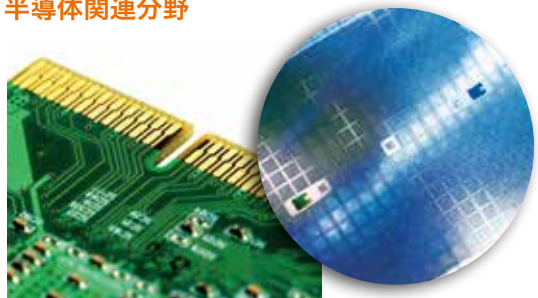
紫から透明に色が変わる瞬間接着剤
「アロンアルファ®カラーチェンジ」



基礎化学品事業

高純度を極限まで追求! 高純度無機薬品

半導体関連分野



当社は、苛性ソーダや塩酸などの電解製品を原料に高純度無機薬品を製造しています。主力製品の液化塩化水素は、半導体のシリコンウエハのエッチングや洗浄に用いられています。金属イオン等の不純物を限りなく減らして純度を99.999%まで高めることで、厳しい品質管理が要求される半導体業界のニーズに応えています。

機能製品事業

銀の力で抗菌効果を発揮! 銀系無機抗菌剤「ノバロン®」

環境アメニティ分野



無機イオン交換体に、銀イオンを組み合わせた銀系無機抗菌剤「ノバロン®」は、衣類や家電製品等の加工製品に塗布・練り込み加工され、抗菌機能を付加する添加剤です。米国FDA(食品医薬品局)から、食品接触用途や医療用途で使用認可を受けており、安全性の高い製品です。

アクリル製品事業

高付加価値で環境にもやさしい! 光硬化型樹脂「アロニックス®」

電気・電子材料分野



アクリル酸を原料とするアクリル川下誘導品の代表製品、光硬化型樹脂「アロニックス®」は、紫外線を照射することにより数秒で硬化する、ユニークな特性を持った製品で、液晶テレビの部材や電子材料などに使用されています。溶剤を使用しないことから環境に調和する製品としても高く評価されています。

樹脂加工製品事業

小回りが利いてコンパクト! 介護用歩行車「リトルターン」

介護福祉分野



アロン化成の介護用歩行車「リトルターン」は、ちょっとした段差を乗り越えるときに便利な軽量設計、凹凸のある路面でも安定する大きな車輪など、使いやすい工夫が施されています。さらに、一般家屋に多い75cmの廊下幅にも対応した小回りが利くコンパクトな設計で、屋内でも快適に使っていただける介護用品です。

貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成26年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年6月30日)	増減額
流動資産	104,297	109,913	5,615
固定資産	96,870	100,418	3,547
① 資産合計	201,168	210,331	9,163
流動負債	27,379	28,935	1,556
固定負債	16,439	17,658	1,219
負債合計	43,818	46,594	2,775
純資産	157,349	163,736	6,387
負債純資産合計	201,168	210,331	9,163

損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	増減額
売上高	74,954	70,270	△ 4,684
売上総利益	18,045	17,301	△ 744
販売費及び一般管理費	11,956	11,414	△ 542
② 営業利益	6,088	5,887	△ 201
経常利益	6,410	6,429	18
特別損益	△ 131	△ 77	53
四半期純利益	4,253	3,847	△ 406

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,448	14,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,675	△ 2,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,576	△ 2,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,726	48,545

POINT ①

資産合計は、手元流動性の上昇による「有価証券」の増加に加え、株式市況の回復により「投資有価証券」が増加したため、前連結会計年度末に比べ91億6千3百万円、4.6%増加の2,103億3千1百万円となりました。

POINT ②

原燃料価格の下落に伴い一部製品の価格が弱含み、販売数量も下落するなど収益が圧迫される状況が続いた結果、営業利益は前年同期に比べ2億1百万円減少し、58億8千7百万円となりました。

POINT ③

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少したため、前年同期に比べ支出が67億7千9百万円減少し、28億9千5百万円の支出となりました。

▶ 配当について

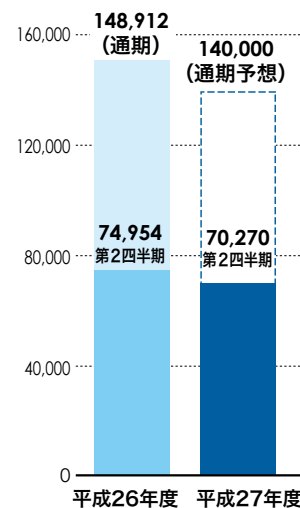
当期の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案し、当第2四半期末の配当金は1株当たり6円といたします。また、期末配当金は、平成27年7月1日を効力発生日とする株式併合(2株を1株に併合)後の株式数に対し、1株当たり12円※を予定しています。

※株式併合考慮前で換算すると、前期と同額の6円となります

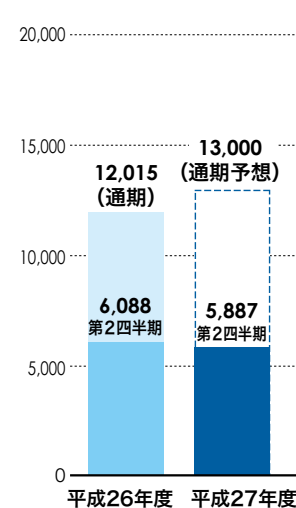
平成27年度第2四半期

(単位:百万円)

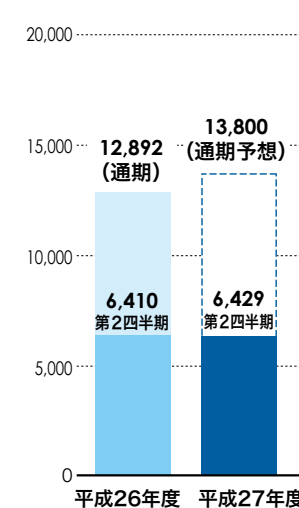
売上高



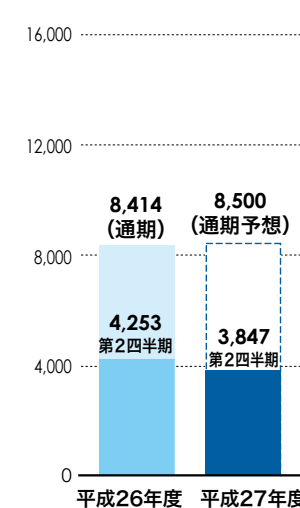
営業利益



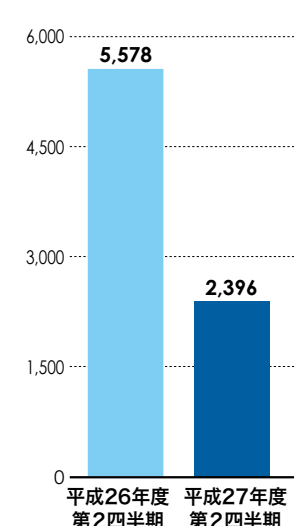
経常利益



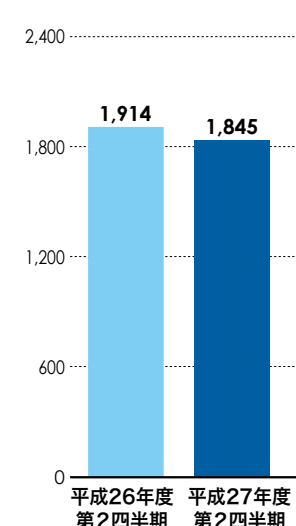
当期純利益



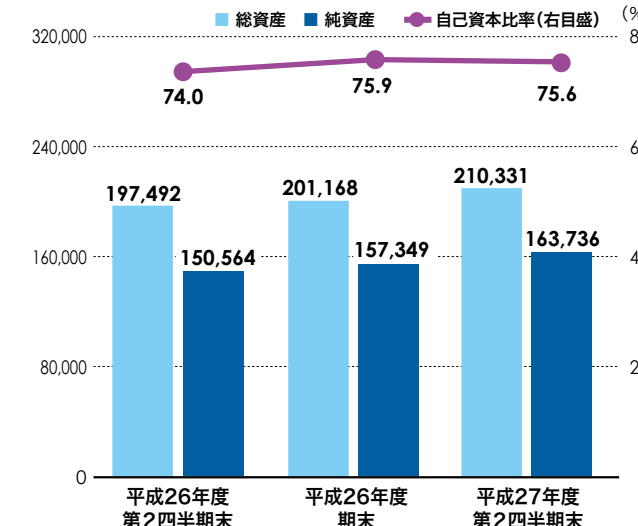
設備投資額



研究開発費



総資産・純資産・自己資本比率



「安寿」ブランドで展開する介護用品 ビフィズス菌サプリメント『巡優』LKM512®新発売

アロン化成株式会社は、協同乳業株式会社が開発した、ビフィズス菌LKM512®を『巡優』LKM512®(※)として平成27年4月に販売開始しました。同製品は『生きたまま腸に届く』、『腸の中で増える』ことを特長としたサプリメントです。

アロン化成株式会社はこれまで、「安寿」ブランドでさまざまな介護用品を製造販売し、特に排泄介護用品(ポータブルトイレ)の分野でトップクラスのシェアを有しています。同分野での知名度やその販売ルートを生かし、排泄ケア全般も視野に入れて、高齢者を中心とした介護をサポートしていきます。

※LKM512®は協同乳業株式会社の登録商標です。



巡優 検索

購入方法 アロン化成ホームページ内『巡優』LKM512®紹介ページ
(<http://www.aronkasei.co.jp/anjyu/junyu/index.php>)に記載の取扱販売店または、アロン化成(株)ライフサポート事業部お客様相談室(0120-86-7735)へお問い合わせください。

当社Webサイトのご案内

情報充実の当社Webサイトをぜひご覧ください

東亜合成Webサイトトップページ
<http://www.toagosei.co.jp/>

東亜合成 検索

トップページ



個人投資家の皆さまへ



会社概要

本店所在地/〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号
電話 (03)3597-7215(代表)

設立/昭和17年3月31日

資本金/20,886百万円

従業員/連結2,432名
単独1,243名

取締役および監査役

取締役会長	橋本	太
代表取締役社長	中川	和明
代表取締役副社長	高村	美己志
取締役	野村	聡一
取締役	石川	延宏
取締役	小峰	朗
取締役	伊藤	克幸
取締役	杉浦	伸一
取締役(社外)	三浦	良二
監査役(常勤)	加藤	秀雄
監査役(社外)	原	一夫
監査役(社外)	原田	力
監査役(社外)	北村	康央

株式の状況

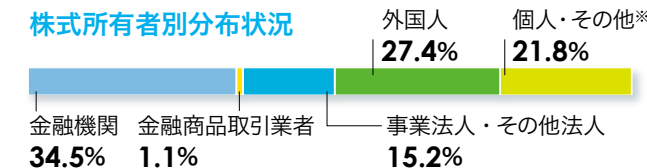
発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	19,642名

(注) 平成27年7月1日付で普通株式2株を1株とする株式併合を実施しました。これにより、発行可能株式総数は275,000,000株、発行済株式総数は131,996,299株となっております。

大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
株式会社三井住友銀行	11,636	4.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,128	3.47
東亜合成取引先持株会	7,908	3.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,811	2.97
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	6,679	2.54
東亜合成グループ社員持株会	5,895	2.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.15
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	4,428	1.68
農林中央金庫	3,944	1.50
三井生命保険株式会社	3,691	1.40

出資比率は自己株式(675,620株)を控除して計算しております。



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

株主の皆様へのお知らせ ~単元株式数の変更と株式併合のご案内~

当社は、投資家をはじめとする市場利用者の利便性の向上を図るため、平成27年7月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。また、単元株式数の変更と併せて、東京証券取引所が望ましいとしている投資単位の金額水準(5万円以上50万円未満)を勘案し、当社の普通

株式について、2株を1株の割合で株式併合を実施しました。なお、株式併合により、ご所有の株式数は、併合前の2分の1となりますが、純資産等は変動しませんので、1株当たりの純資産額は2倍となり、株式市況の変動など他の要因を除けば、株主様がご所有の当社株式の資産価値が変わることはありません。



アンケートにご協力ください

抽選で「アロンアルファ カラーチェンジ」と「はがし隊」をプレゼント!!



アンケートサイト(画面)への接続方法

Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索 URL <http://kabuhiro.jp>

株主アンケート

アンケート実施期間 **平成27年9月30日まで**

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、右記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

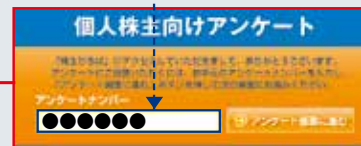
株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail: inquiry@kabuhiro.jp

ご回答方法

アンケートサイト (<http://kabuhiro.jp>) 画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。



アンケート
ナンバー



株主メモ

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-782-031** (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

■ ホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・ 口座振替申請書 ・ 単元未満株式買取請求書
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用) ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。